適応疾患/乳がん

プロトコール名 P-M-12 / pertuzumab＋trastuzumab＋weeklyPTX 併用療法

HER2陽性の手術不能又は再発乳癌

	薬剤名・用量	備考	投与方法	投与日 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	ナゼアOD錠　２錠		内服	↓							↓							↓							↓							↓			
①	生食30ml　ルート確保（50ml中20mlを③で使用）			↓							×							×							↓							×			
②	**パージェタ** **初回840mg/body 2回目以降420mg/body** 生食250ml	60分 ※1	点滴静注	↓							×							×							↓	（30分）※1						×			
③	生食20ml	フラッシュ		↓							×							×							↓							×			
④	グラニセトロンバッグ	30分	点滴静注	↓	（②経過観察のため初回のみ60分）						↓							↓							↓							↓			
⑤	**ハーセプチン** **初回8mg/kg 2回目以降6mg/kg** 生食250ml	90分 ※1	点滴静注	↓							×							×							↓	（30分）※1						×			
⑥	5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖液 250ml	60分	点滴静注	↓							↓							↓							↓							↓			
⑦	ファモチジン1A 生食20ml	⑥開始30分後	静注	↓							↓							↓							↓							↓			
⑧	ﾃﾞｷｻｰﾄ6．6mg/body 生食20ml	⑥開始30分後	静注	↓							↓							↓							↓							↓			
	レスタミン錠　５錠	⑥開始30分後	内服	↓							↓							↓							↓							↓			
⑨	**パクリタキセル 80mg/㎡/day** 5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖液 250ml ﾎﾟﾝﾌﾟ専用ﾌｨﾙﾀｰ付き輸液ｾｯﾄ使用	60分	点滴静注	↓							↓							↓							↓							↓			
⑩	生食50ml	フラッシュ		↓							↓							↓							↓							↓			

1クール目　約6時間　約2．5時間　約2．5時間

2クール目　約4時間　約2．5時間

1クール21日間

- 投与開始前（患者選択時）に、心エコーなどによりLVEF（左室駆出率）が十分（≧50%）であることを必ず確認して下さい。
- 投与開始後も、4クール毎に心機能検査（心エコーなど）を行って下さい。心症状の発現状況や重篤度によっては期間を短縮して検査して下さい。

※1　パージェタ、ハーセプチンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
前回投与から投与間隔が6週間以上開いた場合、パージェタ及びハーセプチンともに初回投与量で投与することが望ましい。